

第3 建築物の耐震診断及び耐震改修の実施に関する目標

1 想定される地震の規模、被害の状況

新潟県において過去に被害をもたらした地震や、主要な活断層の分布状況、調査時点での科学的知見を踏まえ、県内において発生が想定される地震は以下6つの地震が報告されています。

これは、新潟県が阪神・淡路大震災の教訓の踏まえ、県内の大きな影響を与えると予想される地震を科学的知見から検討した結果、地震発生時の人的・物的被害を具体的に想定・試算する必要が認識されたことから、平成7年から平成10年にかけて「新潟県地震被害想定調査」を実施した結果になります。

想定地震の諸元

想定地震名	震源諸元	マグニチュード (※1)	長さ (km) (※1)	幅 (km) (※1)	傾斜 (※1)	位置等 (※1)	《参考》 上端深 (※2)
秋田沖の地震（海域）		7.6	80	40	30° E	秋田県西方沖の震源	1 km
新潟県南西沖の地震（海域）		7.7	100	38	35° E	佐渡西方から糸魚川市沖合にかけての震源	2km
粟島付近の地震（海域）		7.5	80	30	56° W	新潟地震と同程度の地震（1964年）	6km
下越地方の地震（内陸）		7.0	32	12	90°	旧新潟市部から旧白根市部にかけての断層	6km
中越地方の地震（内陸）		7.0	20	10	90°	見附市から長岡市にかけての断層	4km
上越地方の地震（内陸）		7.0	20	10	90°	上越市から妙高市にかけての断層	6km

(※1) 新潟県地震被害想定調査報告書（平成10年3月） (※2) 断層上端から地表面までの距離。



想定震源の位置と大きさ

《被害の概要》

各想定地震における県全体の被害等の一覧は次のとおりです。
 また、想定した地震以外にも、県内に被害を引き起こす地震が本県やその周辺において発生する可能性があります。

被害想定（建築物被害）

（単位：棟）

区分 想定地震名	木造建築物		非木造建築物		合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊
秋田沖の地震	0	1	0	4	0	5
新潟県南西沖の地震	628	3,664	75	360	703	4,024
粟島付近の地震	4,009	14,407	718	1,292	4,727	15,699
下越地方の地震	32,192	66,618	3,704	5,747	35,896	72,365
中越地方の地震	14,553	22,418	1,671	4,860	16,224	27,278
上越地方の地震	9,486	17,486	1,127	3,369	10,613	20,855

※複数の要因により被害を受ける建物（例えば、地震動により半壊した建物で、火災により焼失するもの）の被害棟数は重複して計上してあるため、結果として被害棟数はこれらを足し合わせた数値にはなりません。

資料：新潟県地震被害想定調査報告書（平成 10 年 3 月）

被害想定（人的被害）

（単位：人）

区分 想定地震名	死者数	重傷者数	軽傷者数	避難者数
秋田沖の地震	0	1	21	7
新潟県南西沖の地震	19	125	2,660	5,054
粟島付近の地震	117	668	13,346	37,044
下越地方の地震	1,232	2,589	49,898	233,604
中越地方の地震	346	999	19,293	89,387
上越地方の地震	585	481	9,278	44,257

※ 人的被害は、季節（夏・冬）、時刻別（昼・夜）に想定しており、上記は冬の夜間に発生した場合の被害想定です。

資料：新潟県地震被害想定調査報告書（平成 10 年 3 月）

大地震は、いつどこで発生してもおかしくない状況にあります。
そのため、今後、耐震化の促進を通して建築物の被害を減少させていく
ことが、安心・安全なまちづくりの緊急な課題とされています。

被害想定（建築物被害）

（例：地震により倒壊した家屋）



（出典：新潟県中越地震被害の状況）